



夢創造

豊野中だより

教育目標「夢創造～一生懸命がカッコイイ」～ 生き生き充実ウェルビーイング！

令和6年度1月号 春日部市立豊野中学校

豊野中学校

【4つの合言葉】

温かい挨拶・真剣な授業
心ある敬語・美しい学校

お詫びと訂正(お知らせ)

12月号の新人戦県大会結果に間違いがありました。ここにお詫びを申し上げ、訂正をいたします。



埼玉県マスコット

「コバトン」

誤:女子卓球部 団体戦 3回戦惜敗
正:女子卓球部 団体戦 4回戦惜敗



新年を寿ぐ ～1月 は「節目と決意」の月～

校長



新年あけましておめでとうございます。皆さまお健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。2025年が始まりました。今年も『夢創造』の教育目標のもと、主体的に学び合う生徒（知）、温かいあいさつのできる思いやりにあふれた生徒（徳）、豊かな活力をもって、「一生懸命」を大切にしながら成長していく生徒（体）を育てまいる。生徒たち一人一人が新たな目標に向かって挑戦し、さらに大きく成長する一年となるよう、教職員一丸となってサポートしてまいりたいと思います。（職員一同）

令和七年の干支は、十干が「乙（きのと）」、十二支が「巳（みくへび）」の組み合わせで、「乙巳（きのと・み）」です。「乙」は、「困難があっても紆余曲折しながら進むこと、しなやかに伸びる草木、柔軟性、適応力」を表しており、そして「巳」は、蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。この2つの組み合わせである「乙巳」には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているとのこと。今年の元旦は、見事に晴れ渡りました。この2025年が素晴らしい1年になりますよう願っています。

さて、新年にあたり、「人の幸せ」についてお話します。私は以前、「人の幸せ」に関する講演会に参加したことがあります。講演者の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授兼武蔵野大学ウェルビーイング学部長・教授の前野隆司先生は、ロボット工学を出発点にロボットに心をもたせることに興味をもち、人間の幸せを研究するに至った方でした。講演会で伺った「人の幸せ」に関する前野先生の研究成果の幾つかをご紹介します。

○「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」が、幸せになる4つの要素である。

- ・「やってみよう」因子：夢や目標をもっている人は幸せ
- ・「ありがとう」因子：感謝する人、親切で利他的な人は幸せ
- ・「なんとかなる」因子：楽観的でポジティブな人は幸せ
- ・「ありのままに」因子：人の目を気にしすぎない人は幸せ



- 幸せな人は、長寿である。
- 笑顔を作るだけで、幸せな気分が高まる。
- 上を向いて大股で歩くと、幸せな気分が高まる。
- 50歳を過ぎると、歳をとるほど幸福を感じるようになる。



現在、物価高騰や超高齢化社会の問題、欧州・中東の国際情勢など社会不安が高まった状況が続いています。講演会の内容を日々の生活に活かしていけたらと改めて思いました。

さて、生徒の皆さんは冬休みをどのように過ごしたでしょうか。家族や友人とともにリフレッシュし、新年への活力となったことと思います。本日から再び、学習や行事、そして日々の教育活動が始まります。この1月は、「節目と決意の月」であるとともに、「次年度への準備期間」とも言える大切な時期です。学年のまとめとして学びを深めるとともに、進級・卒業に向けての心構えを整える月でもあります。まもなく1年生のスキー教室が始まり、3年生の私立高校の入試が本格化し、2月には県公立高校学力検査、そして3月には、最大の学校行事である卒業証書授与式と大きな行事が続きます。1・2年生は進級に向けた、3年生は卒業と新たな出発に向けた、個人として、学年として、そして豊野中生としての活躍と頑張りに期待します。また、インフルエンザなどの感染症が流行しやすい季節でもあります。健康管理に十分気をつけることはもちろん、学校生活の中で手洗いや咳エチケットを徹底し、安心して過ごせる環境を皆で築き、チーム豊野中みんなで1年のいいスタートをきりましょう。

1月「節目と決意」の月



～ 保護者・地域の皆様へ ～

保護者・地域の皆様、本年も生徒たちが安心して学び、成長できる学校を目指してまいります。ご理解とご協力とともに変わらぬお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



2学期終業式 各学年 生徒代表の言葉



2学期で頑張ったこと

3－1

1年で1番長い学期である2学期が終わり豊野中の生徒でいられるのも残りわずかとなりました。

2学期で1番思い出に残っているのは合唱コンクールです。私のクラスでは森山直太朗さん作曲の「虹」を歌いました。「輝け青春！～響かせよう 絆のハーモニー」という学校全体のスローガンを胸に、クラスで一致団結し、歌い方を試行錯誤しました。私はアルトのソロパートをつとめました。歌に自信がなく心配でしたが、先生や友達にアドバイスをもらい、たくさん練習しました。クラスでも練習を重ね、努力した結果、1組らしい合唱ができ、結果として金賞を取ることができました。最後の合唱コンクールは私にとって最高の思い出になりました。

また、特に力を注いだのは受験勉強です。今学期は受験関連のワードを多く耳にしることがあり、心中穏やかでいられない日が多々ありました。10月に校長先生と面談し、とても緊張した私はすごく早口で話してしまい予想外の質問で止まってしまうことがありました。ですが、校長先生が「リラックスしてね。」と声をかけてくださり、肩の力が抜け最後はゆっくりと話すことができました。短い時間でしたが、たくさんのアドバイスをいただき、とても学びのある時間を過ごせました。

さらに3年生になって、初めて受けた東部地区テストを筆頭に、様々なテストを受けました。そこでは、数値化され出てくる自分の偏差値を見て現実を突き詰められ、焦りを感じました。このままでは良くないと思い、夏休みから2学期の間、1、2年生の基礎を中心に勉強に取り組み、わからないところを減らしていきました。その結果、少しずつ上がってくる偏差値を見て努力が形になっていると思い、少しずつ自信につながっていくことを実感しました。

私の第一志望は埼玉県の公立高校です。専門学科ということもあり今年は例年より倍率が高くなる予想で、毎日不安が募るばかりです。

私は勉強がもともと苦手なので、心配なことはたくさんありますが、「看護師になり、人の役に立つ」という将来の夢を叶えたい意志を強く持ち、冬休みという学力を上げる最後のチャンスの中で、自分の心を律し、本番まで悔いの残らないように努力し続けたいです。卒業までもうあっという間ですが、1日1日を大切にし、残りの中学校生活をたのしみたいです。

2学期を振り返って

2－3

今学期は、私の中でとても成長できた時期だと考えます。特に頑張ったことは3つあります。

1つ目は、生活面です。私は、学級委員の副代表としてクラスや学年のために学年レクや集会の運営を積極的に行いました。今年で2年目の学級委員なので、去年より積極的に効率的な活動ができるよう、努力しました。例えば、2学期終業式の発表を担任の先生からお願いされたとき、発表することに対して消極的でした。ですが、学級委員での活動を通じてやってみたら意外と楽しいかもしれないという気持ちに変わり、挑戦することができました。このような活動から多くの場面で成長することができました。これからの生活でも自分の苦手なことにより多く取り組んでいけるようになりたいと思います。

2つ目は、勉強です。中間テストでは新人戦と期間が被り、期末でも始めるのが遅くなってしまっただ試験前の休日から勉強を本格的に始めました。ですが、明確な目標を立てずにただ勉強するのではなく、五教科の目標点数を決め、何位以内に入るなど自分なりの目標を立てて取り組むことができました。苦手なことだと行動が遅くなってしまうことが多いので、3学期は苦手なことこそ早めに行動して後悔しないようにしたいと思いました。

3つ目は部活です。三年生が引退して新しい代の部長になり、最初は慣れないことばかりでした。今でも部活を引っ張ったりまとめたりすることがうまくいかないこともあります。三学期は学総に向けてより良いチームにできるように行動したいです。新人戦では、市内予選を団体戦は2位、個人戦は1位で通過し、どちらも県大会に出場することができました。県大会では、団体戦は関東選抜大会を目指して試合に挑みましたが、結果はベスト16と惜しくも関東選抜に行くことはできませんでした。個人戦のダブルスでは、お互いに声を掛け合っただり喜んだり励まし合ったりしながら4回戦まで進むことができました。この県大会の経験は努力した達成感や一緒に戦うことの楽しさを教えてくれました。

以上の3点は今学期特に意識して生活しました。3学期ではこの3つもそうですが、それ以外の家庭学習や生活態度も意識してさらに成長できるようにしたいです。

2学期を振り返って

1－2

私は2学期で頑張ったことが2つあります。

1つ目は中学校に入って初めての合唱コンクールです。私は伴奏という大きな役割に挑戦しました。小学校の時の合唱コンクールや卒業式の伴奏にも挑戦しましたが怪我や練習不足でどれも失敗で終わってしまいました。でも今年は伴奏者になりたいという思う気持ちが去年より強くなり、毎日欠かさず練習に励みました。夏休み前は他のクラスの子達より遅れていたけど毎日練習を重ねていくうちにしっかりと曲になっていきました。夏休みが明けた頃には他のクラスの子との差が縮まったように感じました。本番でも良い演奏をすることができました。

実行委員ではクラスをまとめたり本番ではめくりの役割などを頑張りました。初めてでわからないことがいろいろとあったけど先輩や先生方たちが優しくわかりやすく教えてくれました。

2つ目はテストです。

1学期の期末、2学期の中間テストではわからないことをそのままにしてしまいあまり良くない点数をとってしまいました。このままではいけないと思い、これまでわからなかったところなどをしっかりと聞き、わかるようになりました。テスト2週間前には教えてもらったことを思い出しながら勉強に励みました。その結果、1学期の期末、2学期の中間よりも順位や点数を大きく上げることができました。この調子で3学期も頑張りたいです。

令和6年度春日部市特別支援学級 ふれあいアート展のお知らせ

日時 令和7年2月4日（火）～2月28日（金）
会場 春日部市教育委員会ブログポータルサイト
(https://schit.net/kasukabe/center/gakko_now)

※WEB上での開催となります。

内容 絵画・粘土・工作・習字・家庭科作品・技術科作品等の掲載

問合せ 春日部市教育委員会 指導課
TEL 048-763-2220